

2021年
謹賀新年

Happy New Year!
2021年度カレンダー付き

「私たちは、知ろう。主を知ることが切に追い求めよう。
主は暁の光のように、確かに現れ、大雨のように、
私たちのところに来、後の雨のように、地を潤される。」
ホセア書6章3節

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院
2021年1月・2月号 NO.181



2021年
謹賀新年

Happy New Year!

「人となられたイエス様」

主は暁の光のように確かに現れた！

「私たちは、知ろう。主を知ることが切に追い求めよう。
主は暁の光のように、確かに現れ、大雨のように、私
たちのところに来、後の雨のように、地を潤される。」
(ホセア6章3節)



学院長 鍛冶川利文

みなさん新年あけましておめでとうございます！2021年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますようにお祈りしております。

旧約時代の大預言者であるホセアは、後に起こるであろうイスラエルの様々な悲劇の理由は、民が、主を知らないことであると言っています。(ホセア5章4節) それ故、ホセアはあらためて民に向かって、「私たちは、主を知ろう。主を知ることが切に追い求めよう。」(3節) と呼びかけます。

昨年は新型コロナの拡大による様々な社会不安や恐れが世界中に広がりました。それは今年に入っても収まる気配はありません。しかしこのような時だからこそ、ホセアの呼びかけは、今の私たちにとっても大切なメッセージでもあると思います。ここに「主を知る」ことの現われが記されています。それは「こ

とばが人となって私たちの間に住まわれた」ことです。(ヨハネ1章14節)

今から約2000年前に、神の御子であるイエスキリストがこの地上にお生まれになりました。イザヤ書にはこうあります。「闇の中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。」(イザヤ9章2節)

暗闇が世界を覆っていた時に、その闇を引き裂くように暁の光が民の上に輝きました。神が人となってこの地上にお生まれになったのです。このニュースは世界最高のグッドニュースです！このニュースはたとえ疫病という暗闇がこの世界を覆っているように見えても、その輝きを打ち消すことが出来ません！イエス様は全人類の全ての人の罪や咎を背負い、十字架に架かり、死んで甦る為にこの地

上に来られました。そしてそれとともに全ての人の痛みや病を負うために人となられました。イザヤ書53章にはこうあります。

「彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。」(イザヤ書53章3節)

神であるイエス様が人となられた理由は、人としての弱さや痛み、悲しみや痛みを自身に実際に味わい知る為であり、その身に背負う為でした。その事によって、神であるお方が、人の側に立って父なる神にとりなし癒やす為です。

「そういうわけで、神のことについて、あわれみ深い、忠実な大祭司となるため、主はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりません。それは民の罪のために、なだめがなされるためなのです。主は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることができようになります。」(ヘブル2章17節～18節)

預言者ホセアは神の命令である妻のゴメルを救う為に、言葉だけでなく実際の行動を通して贖いました。イエス様が人となられたことも私たちが贖う為でした。

第二次世界大戦の後、日本各地は焼け野原となり、日本の民は戦禍の中、絶望と不安が国全体を覆いました。その時に、それまで昭和天皇が現人神(あらひとがみ)として国民から崇め畏れられていた存在であったものが、天皇も人であることを人々に知らせました。そして日本各地を巡り、人々の中に入って行き、実際に言葉をかけられました。その事が戦後の日本の復興の大きな慰めや励ましとなりました。しかし、そのこと以上に大いなる御業があるのです！それは天皇以上に、罪なき神であるお方が、人となって私たちの間に住み、私たちの罪の身代わりになられたことです！その事実です！「主を知る」とは、命を懸けて私の為に身代わりとなったお方がおられることを知る事です！

今、現在の私たちは、先の見えない世界的な疫病の蔓延や、暗闇の時代の中に歩んでいるようです。しかし、神である御子が、人となられてこの地上を歩まれた事実は、今を生きている私たちにどれほどの希望をもたらすものでしょうか？そしてそのお方は、暁の光のように確かに現れたお方です。

この1年も神様を待ち望むすべての人に、希望の光輝く年となりますように、心よりお祈りしております。

「さあ、主に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、いやし、私たちを打ったが、また、包んでくださるからだ。主は二日の後、私たちを生き返らせ、三日目に私たちを立ち上がらせる。私たちは、御前に生きるのだ。」(ホセア書6章1節・2節)

CD販売・刊行物

●お申し込みは／学院事務局まで

※サンプルは、下記のページで聴くことができます。

<http://www.cfnj.com/media.html>



「神の指が
ふれた時」

定価／1枚 (CD)
(送料別) 700円



「神のみことば
のいやしの力」

定価／1枚 (CD)
(送料別) 1,000円

CFNJ小冊子
無料プレゼント！



●お申し込みは
／学院事務局迄

「聖霊のバプテスマを受けるには」

(ゴードン・リンゼイ著)

「いやしの信仰」(ゴードン・リンゼイ著)

「山をも動かす祈り」(ゴードン・リンゼイ著)

「主の恵み尽きることなく」(鍛冶川 紀子著)

2021年
謹賀新年

Happy New Year!

「祈りと学びの信仰生活」 石田 吉男師：

ホーリネス系の聖書学院の祈りから始まったリバイバル！



●1931年（昭和5年）5月16日に、東京・柏木にあったホーリネス系の聖書学院に聖霊が注がれリバイバルが起きた。当時、聖書学院の庭には約5000人収容の露天幕が造られ、人々は熱くキリストの再臨待望の祈りをささげた。

●石田 吉男師：キリスト聖協団札幌教会 オリーブチャペル牧師。CFNJ 聖書学院専任講師。サハリン宣教、及び、再臨待望聖会を開催する。

「福音には神の義が啓示されていて、信仰に始まり信仰に進ませるからです。『義人は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです。」

（ローマ1章17節）

新年あけましておめでとうございます！

昨年は新型コロナウイルス感染の拡大で始まりましたが、この影響により世界経済は低迷し、社会的にも不安が高まりました。人種差別が原因で起こる暴動や民族同士の対立などが泥沼化する一方、国家間の戦争に発展するのではと危惧されるような事態も起こっています。新型コロナウイルスがこれに拍車をかけて、まさに混乱は深まる一方です。新型コロナウイルスのワクチン開発・製造が急がれる中、現在も日を追うごとに感染が拡大しており、昨年末までに感染者数は七千万人に達するものと予想され、想像を絶するほど恐ろしい時代の到来を感じさせられます。

聖書では、ノアの洪水があった時代について次のように記されています。「主は、地上に人の悪

が増大し、その心に凶ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。（中略）地は神の前に墮落し、地は暴虐で満ちていた。（中略）神が地をご覧になると、見よ、それは墮落していた。すべての肉なるものが、地上で自分の道を乱していたからである。（創世記6章5節～12節）」

新約聖書では「人の子の到来はノアの日と同じように実現するのです。洪水前の日々にはノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていました。（マタイ24章37節～38節）」と記されています。

聖書のみことばにも見受けられる人間の自己中心性は、あらゆるものが便利になった現代人ではさらにその強烈さを増しているように感じられます。「ノアは正しい人で、彼の世代の中であって全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。（創世記6章9節）」とあるように、このような混乱と罪の時代下にあっても、ノアは神様を主とし、

主の御心に適う生活を送っていた信仰者でした。コロナ禍にあるキリスト教界でも、オンライン礼拝に切り替える、礼拝時間を短縮するなど、さまざまな対応がなされています。この困難と不安の真中で、私たちがクリスチャンとして最も真剣に取り組むべきなのが、まさにこのノアの信仰にもある、「義人は信仰によって生きる」という基本姿勢ではないでしょうか。「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。(ヘブル11章6節)」とあるように、信仰は本来単純で素朴、しかも大胆さが求められるものです。「昔の人たちは、この信仰によって称賛されました。(ヘブル11章2節)」困難な時代を勝ち抜いた先輩たちの信仰生活の秘訣は何だったのかを、みことばから見ていきましょう。

パウロとシラスは福音伝道中に捕らえられ、投獄されました。「真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ、神を賛美する歌を歌っていた。(使徒16章25節)」最も困難な状況下で、とっさに祈ろうと思っても、なかなかできるものではありません。普段から祈りを継続してきた信仰生活の積み重ねがあってこそ、実行できることではないでしょうか。

「それからイエスは出て行き、いつものようにオリブ山に行かれた。弟子たちもイエスに従った。いつもの場所に来ると、イエスは彼らに、『誘惑に陥らないように祈っていなさい』と言われた。そして、ご自分は弟子たちから離れて、石を投げて届くほどのところに行き、ひざまずいて祈られた。(ルカ22章39節～41節)」

この箇所では、イエス様が神ご自身であられながらも、人としての祈りの生活を実践されてきたことを裏付ける3つのポイントが記されています。「いつものように」日々、祈りの時間を確保してきたことがわかります。「オリブ山で」日々、祈りの場所を確保してきたことがわかります。「ひざまずいて祈られた」日々、祈りを継続してきた事実が、姿勢に現れています。イエス様にとってゲッセマネの園は、日常的な祈りの場での祈りであり、継続的な祈りを通して神様と交わりが保た

れてきた至聖所でした。そこで御使いを通じて力が注がれたことで、イエス様は十字架による贖いの業へと進むことができたのです。祈りの継続こそ、信仰生活に不可欠なものなのです。

「祈る者はいるけれども、祈り抜くものはいない」そう言われた信仰の先輩方のことばには、心を打たれます。1931年(昭和5年)5月16日に、東京・柏木にあったホーリネス系の聖書学院に聖霊が注がれリバイバルが起きました。これは偶然起きたのではなく、その6年前の1924年(大正13年)頃から、聖書学院の修養生(神学生)達が、リバイバルを切望して聖霊の働きを求める祈りが続けられてきたからです。当時、聖書学院の朝は早く、学生たちは毎朝4時45分に起床、5時からは早天祈祷会がもたれました。ところが実際には「まだ暗い2、3時頃からすでにあちらこちらから祈りの声が聞こえた」「祈りの場所を確保することに困難を覚えた」さらには「断食をし、徹夜、半徹で祈る者のその声は、祈りというよりはうめき声のような祈りであった」とのことです。当時のホーリネス系教会は外国からのサポートを受けていましたが、「義人は信仰によって生きる」との聖霊による強い迫りから月給制度を廃止し、皆自給自足となり、ある者は無月給となりました。それでも信仰による生活を決意し、キリストを愛することに命を懸けてリバイバルを待望し祈り求めた継続の結果、この出来事が起こったのです。当時、聖書学院の庭には5000人が収容される大天幕が造られ、聖霊による宣教の著しい働きによって一週間に1箇所の教会が建て上げられるほどの驚くべき聖霊の働きがあったと伝えられています。現代でも、祈りの継続により驚くべき奇跡が現れ、新たな時代へ扉を開く鍵であることは間違いありません。新型コロナウイルスの感染拡大に直面している今こそ、祈り続けてこなかった罪を悔い改め、信仰生活の基本を建て直す絶好の機会であると言えます。

聖書のみことばの学びの基本は、まず聖書を読み、「神に聞く」ことです。聖書に「神は言われた」「主は言われた」「御霊が言われた」とあるように、目に見えない唯一の神様が、聖霊を通じて私たちに語られるみことばに耳を傾けることが大切です。

す。この「神に聞く」ということばは、旧約聖書では、1100回、新約聖書では425回用いられています。「モーセはイスラエルをみな呼び寄せて、彼らに言った。『聞け、イスラエルよ。今日、私があなたがたの耳に語る掟と定めを。これを学び、守り行いなさい。』(申命記5章1節)」神様が語りかけることばを聞くことは、信仰生活に生きる原点であり、基本です。それには、聖書を読むことが必須なのです。

イスラエルの初代の王として選ばれたサウルは、「わたしは主の声に聞き従い、主がつかわされた使命を帯びて行き、アマレクの王アガグを連れてきて、アマレクびとを滅ぼし尽しました。(1サムエル15章20節)」と語るほど、忠実に神様の御声に聞き従っていました。しかし現実には、主から頂くみことばを自分の欲望と自己実現のために用いた結果、主の御心を心にとめないようになってしまいました。みことばを聞くには、聖書のみことばをしっかりと心に留め、自分に受肉して信仰に結びつけるまで、継続して学び続けることが大切です。

「サムエルは言った、／「主はそのみ言葉に聞き従う事を喜ばれるように、／燔祭や犠牲を喜ばれるであろうか。見よ、従うことは犠牲にまさり、／聞くことは雄羊の脂肪にまさる。(口語訳・1サムエル15章22節)」と記されております。

ある宣教師がこう言われたのを思い出します。「聖書のみことばが理解できない時は、すぐ注解書に頼ってしまうやり方よりも、むしろ理解できるまで祈りつつ、同じ箇所を何度も読み返し続けていくことが大切である。同じ箇所を127回、読み続けた時に、みことばが自分のなかで生きたものとなった時の嬉しさは地上での最高の喜びとなりました。

「私はあなたのみことばを見つけ出し、それを食べました。そうして、あなたのみことばは、私にとって楽しみとなり、心の喜びとなりました。(エレミヤ15章16節)」に記された通りでした。

現代はインターネットの普及により情報過多の時代です。キリスト教関連も例外ではなく、特にコロナ禍にあってYouTube等を通じて急速にオン

ライン礼拝が普及し、クリック一つでメッセージが簡単に手に入るようになりました。しかし、そんな便利な時代になった今だからこそ、何のメディアを経由するにしても、神様のみことばを間接的にではなく直接的に受け止めて理解し、生き生きとした信仰生活の糧とすることの重要性を改めて認識する必要があるのではないかと思います。

預言者ダニエルの信仰生活を見てみましょう。バビロンに捕囚されて、自分たちの信仰が「異教」として礼拝が禁止された中でも、「ダニエルは、その文書に署名されたことを知って自分の家に帰った。その屋上の部屋はエルサレムの方角に窓が開いていた。彼は以前からしていたように、日に三度ひざまずき、自分の神の前に祈って感謝をささげていた。(ダニエル6章10節)」と記されています。

ダニエルは祈りの人でしたが、彼が神様のご計画の実現に向けて祈り始める動機となったのは、みことばの啓示でした。「すなわち、その治世の第一年に、私ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、エルサレムの荒廃の期間が満ちるまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った。(ダニエル9章2節)」このエレミヤ書のみことばを読んで理解した時から、ダニエルは祖国イスラエルの救いと回復のために祈り始めました。「私の神よ。耳を傾けて聞いてください。目を開いて私たちの荒れずさんださまと、あなたの御名がつけられている都をご覧ください。私たちが御前に伏して願いをささげるのは、私たちの正しい行いによるのではなく、あなたの大いなるあわれみによるのです。(ダニエル9章18節～19節)」この祈りは、バビロン捕囚から70年の時が満ちるときに新たなイスラエル国家が建てられるという、神様のご計画への確認に基づくものであり、その実現には、祈りとみことばの学びが不可欠でした。私たちもまた、祈りとみことばの学びから神様の計画を知り、新しい時代へと進むための祈り手として用いられていくのです。

日本では、1933年(昭和7年)頃には、すでに「イスラエルの救いと回復の祈り」が始まっていました。当時のヨーロッパでは反ユダヤ主義の嵐が吹き荒れていた中(最終的に600万人の

ユダヤ人大量虐殺が引き起こされた)、地球の裏側にある日本の教会で、「イスラエルの救いと回復の祈り」が始められていたのです。しかし、政府によりキリスト教徒は弾圧され、スパイの嫌疑をかけられて110名以上の牧師が逮捕、内5名が殉教死し、教会は解散させられました。しかし、どんな権力も迫害も困難も、神様から与えられた「イスラエルの救いと回復の祈り」を奪うことができず、激しい戦いと困難の中でも祈りは継続されました。その祈りが始まってから16年後の1948年5月14日、イスラエル共和国が実現したのです。ハレルヤ！

この祈りと学びの継続によって、「義人は信仰によって生きる」という信仰の確立のもとに、個人、教会、日本、イスラエル、そしてロシアにも、神様のご計画が実現していくのです。

「あなたが願いの祈りを始めたとき、一つのみことばが出されたので、私はそれを伝えに来た。あなたが特別に愛されている者だからだ。そのみことばを聞き分けて、その幻を理解せよ。(ダニエル9章23節)」

2020年度3学期 卒業式

■去る12月4日(金)午前10時から、3年間の学びを終えた熊谷瞳姉妹の卒業式が執り行われました。コロナ感染対策として、十分な距離を保ちながらの式でしたが、3年間の主の恵みの数々を思い出しながら、感動と祝福に満ちた時となりました。



〈卒業生のご挨拶〉

2年コース及び、アルプスコース卒業

熊谷 瞳

■主が始められた業を祝福の中で終えてくださった事に、心から感謝しています。神からも人からも愛されたイエスの幼少期のように、私は学院でたくさんの愛を受けました。注いでくださった神様と皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも主に愛されている弟子として、神を愛し、人を愛し、終わりの時にこそ主の愛を余すところなく示せるよう、最後まで、一步一步、主と共に歩んでいきます。3年間本当にありがとうございました！

■学院のドラマクラスは2002年度に開講して以来、毎学期たくさんの学生が受講し、訓練を受け、数々のオリジナルドラマを上演してきましたが、今学期はミュージカルドラマ「命の泉」を、卒業式の祝会と、翌日のクリスマス会で2回上演し、好評を博しました。乾ききったこの地に優しい雨のように注がれた主の愛と命の水、「だれでも渴いているならわたしの元に来て飲みなさい。そうすればその人の内から命の泉が湧き上がる」すべての人がこの命の水を飲むことができ、その人生に命の泉がわきあふれますように。(ドラマクラス講師/鍛冶川紀子)

学院ドラマ上演!

ミュージカルドラマ「命の泉」





STUDENT TESTIMONY

学院生の証し



「祝福の祈り会」

1年生/金 南美



■学院に入学して3ヶ月経った頃に、学院で、新入生10名の為の夜の祈り会がありました。その時、学院長、副学院長、先輩たちが私たちに祝福の祈りをしてくれました。私はその時のことが今でも忘れられません。その祈り会の中で、ある方が「南美さんがこの学院の学びを通して、新たに教える賜物を与えられますように。教える喜びがありますように。」という祈りをしてくださいました。私はそのお祈りを頂いた時、涙が止まりませんでした。「新たに」という言葉で胸がいっぱいになりました。私は宣教師として、いつも私が御言葉を教えなければならないと思っていたからです。「また、すべての点で自分自身が良いわざの模範となり、教えにおいては純正で、威厳を保ち、非難すべきところのない、健全なことばを用いなさい。そうすれば、敵対する者も、私たちについて、何も悪いことが言えなくなって、恥じ入ることになるでしょう。」(テス2章7節・8節) 私はみことばを教えるとき、いつも一方的に話していました。そして聖書の勉強というものは、聖書を通して神様の御心はどんなものかを聞くことも大事だけど、御言葉を行っていない相手を非難することもしばしばありました。神様はこんな私を嫌がりました。ある出来事がきっかけで私は偽善者のような自分を責めたり、相手にも傷をつけたと思って、これ以上は、御言葉を教える立場には、なりたくないと思うようになったのです。祈りをしてくださる先生は、私の中にいる聖霊のうめきが分かったと思います。私は異言で宣言しました。「まず私の心を回復してください！主が示してください！戒めを快く受け取って健全な心で新たに教えることができるようにしてください！」と。2学期に入って、ある授業の中で「私たちは正しい聖書で、正しい人から、正しい心で聖書を解釈しなければならない。」と学びました。既に主は、この学院を通して、私の心が正しく悟れるように、教師たちも備えてくださいました。ハレルヤ！語ること、聞くこと、行動すること、この三つのコミュニケーションをちゃんと身につけたいと思います。



「永遠のしるし」

1年生/小米良 謙明



■この学院に来る前と来た後では聖書に対する考え方が変わりました。聖書に対するイメージが変わったというわけでも、自分の中での聖書の重みが変わったというわけではなく、簡単にいうと聖書に対して、御言葉に対する希望が強くなりました。

「いばらの代わりにもみの木が生え、おどろの代わりにミルトスが生える。これは主の記念となり、絶えることのない永遠のしるしとなる。」(イザヤ55章13節)

この御言葉の美しさに感動しました。いばらやおどろの茂る荒れた地にもみの木、ミルトスの木が生える。これが主の記念となり、絶えることのない永遠のしるしとなる。この箇所から僕は召しを受ける事になりました。いばら、おどろは呪いを、もみの木やミルトスの木は神様の祝福を表していて、この祝福は永遠に変わることが無い。これは今のこの世の中にある悪しきものが福音、神様の愛によって祝福に変わり、永遠に祝福が流れ続けるというイメージを僕に与えてくれました。そのため今はまず自分が学び、神様の愛に浸り、それを周りの人々に流し、伝えて行きたいと思っています。この世界中に福音、神様の愛が伝わりますように！

2020年度3学期

授業カリキュラム スケジュール

(2021年1月12日(火)～3月5日(金)迄)

CFNJ特別講義 ゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料。)現在、コロナ対策により、ご来場の方はマスクの着用をお願いいたします。又、各コースの授業も聴講可能です。(有料)詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。



**無料体験入学
実施中!**
平常授業のある3日間(3泊4日)
※詳しくは事務局まで。

1・2年コース(必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM9:15~10:10	新約聖書概論Ⅲ	ローマ書Ⅱ	御国の福音	異端と現代	説教学Ⅱ
2 AM10:30~11:25	金聖圭	長沢克己	金聖圭	松原望	イエス・キリストの生涯 シブリーセンター
3 AM11:35~12:30	クリストの兵士となる クリス・ドベリ	主の癒やしを求めて 安田 諭	説教学Ⅱ 鍛冶川利文	山上の説教Ⅱ 鍛冶川利文	

アルプスコース(必修科目)

1 AM9:15~10:10	祈りⅡ 田中博	リーダーシップの21の原則 鍛冶川 利文		教会教育 益田良一	霊的戦い 岡田好弘
2 AM10:30~11:25		牧会カウンセリングⅢ 小栗昭夫	21世紀の神の教会 安田 諭		イエス・キリストの生涯 シブリーセンター
3 AM11:35~12:30		クリストの兵士となる クリス・ドベリ			

選択科目

午後 PM13:30~15:30	英語クラス クリス・ドベリ	ヘブル語クラス 金聖圭 (一年コース)	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
	ドラマクラス 仲宗根昇平			



田坂元彦 師

●横浜ニューライフバプテスト教会
牧師。(神奈川県横浜市)

1/19~21 1-2時間目



スティーブン・ケイラー 師

●ホープチャーチ創立牧師(千葉県船橋市)

3/1~4 1-2時間目

アメリカ・ダラス市のクライスト・フォー・ザ・ネーションズとの提携姉妹校

ホームページをご覧ください!

cfnj.com

随時願書受付中!

新入生募集中!

2021年4月からの入学。



- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース
- 1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。

無料体験入学
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。



■SNSでCFNJの最新情報を

・Facebook : @CFNJBS

・Instagram : CFNJ 聖書学院



学院の特徴

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・国内外のアウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度
- ・多彩な選択科目

選択科目

- ドラマ・演劇クラス
- ピアノクラス
- ワークショップドラマクラス
- 英語クラス
- ヘブル語クラス
- タンバリンクラス

学院の必要と祈りの課題!

ハレルヤ!いつも学院を覚えてお祈りくださり、尊い献金をもって支えてくださる皆様、本当にありがとうございます!皆様のご支援に支えられて、学院に与えられた使命を果たすべく、スタッフ一同心を合わせて祈りつつ日々の業務に励んでおります。その中で今、様々な必要を覚えておりますので、下記の祈りの課題を共にお祈りくださり、導かれた方はご支援のほど、よろしくお願いいたします。

1. 学生数の増加の為。(現在の19名が30名以上になるように)
2. 学院施設の老朽化にともない、修理の費用が満たされますように。
3. 学院スタッフの健康と学生の学び、生活面、経済の必要の為。



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157

(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688

●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文



私の心が衰え果てる時、
私は地の果てから、
あなたに呼びわります。
どうか、私の及びがたいほど
高い岩の上に、
私を導いてください。
詩篇61篇2節

2021

CFNJ CALENDAR



T. Koujibawa

1 JAN

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

●12日/3学期開始

2 FEB

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3 MAR

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

●5日/卒業式

4 APR

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

●12日/入学式

5 MAY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

●3日~5日/YFN (予定)

6 JUN

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7 JUL

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

●2日/1学期終了

8 AUG

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9 SEP

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

●6日/2学期開始

10 OCT

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11 NOV

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12 DEC

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

●3日/2学期終了